

総合人間学会第 16 回研究大会

Japan Association of Synthetic Anthropology

(シンポジウムテーマ) : ポストヒューマン時代が問う人間存在の揺らぎ

— 大会プログラム —

日時 : 2022 年 6 月 25 日(土)、26 日(日)

日時 : 2022 年 6 月 25 日(土)、26 日(日)

方法 : ZOOM によるオンライン開催

参加申込 : 事前申込 (本学会ウェブサイトの参加申し込みフォームを御利用ください。)

◇ 1 日目 (6 月 25 日)

10:00~10:45 小原秀雄先生を偲ぶ会 <休憩 15 分>

11:00~11:45 総会 (総会直後: 新理事会、15 分程度にて自己紹介など)

<昼休み>

13:00~17:50 大会シンポジウム 「ポストヒューマン時代が問う人間存在の揺らぎ」

13:00~14:50 報告 1・2 と、簡単な質疑 (10~20 分) <休憩 10 分>

15:00~16:50 報告 3・4 と、簡単な質疑 (10~20 分) <休憩 10 分>

17:00~17:50 シンポジスト全員での意見交換と全体討論 (50 分)

◇ 2 日目 (6 月 26 日)

9:30~12:05 一般研究発表 会場 A・B

	会場 A		会場 B
9:30~10:05	岡部 光明		川上 哲
10:10~10:45	岩田 好宏		楊 逸帆 (Adler Yang)
10:50~11:25	野口 友康		柳 沢遊

<昼休み>

12:30~15:05 会場 C

12:35~13:10 穴見 慎一

13:15~13:50 太田 明

13:55~14:30 前島康男

15:30~17:30 ワークショップ

	会場 A		会場 B
	「人間」の定義が揺らぐ時代に		不安の時代の「愛」を考える
	「人間とは何か?」を考える		

[細 目]

◇ 1日目（6月25日）

10:00～10:45 小原秀雄先生を偲ぶ会

小原秀雄先生の思い出を尾関周二会員（前会長）、岩田好宏会員（理事）にお話しいただき、分かち合いのひと時とさせていただきます

<休憩 15分>

11:00～11:45 総会

<休憩 15分>

13:00～17:50 大会シンポジウム

ポストヒューマン時代が問う人間存在の揺らぎ

～人間能力拡張（AI・アバター等）がもたらす将来世界とは？～

（司会進行）古沢 広祐（國學院大學研究開発推進機構）

河野貴美子（国際総合研究機構）

13:00～14:50 報告1・2と、簡単な質疑（10～20分）

報告1 ポストヒューマン時代が揺がす人間らしさ ——思想・哲学の視点から——

上柿崇英（大阪公立大学／環境哲学・現代人間学）

報告2 「技術革新と人間性の再構築—芸術・性・スピリチュアリティ—」

木村武史（筑波大学）

15:00～16:50 報告3・4と、簡単な質疑（10～20分）

報告3 VID TUM（次はなんだ？） — 「人間を超える」という人間の根源的な欲求について

久木田水生（名古屋大学大学院情報学研究科）

報告4 デジタル社会を生きる子どもたち ～子ども学と脳科学から

中村俊（株）コルラボ

17:00～17:50 シンポジスト全員での意見交換と全体討論（50分）

◇ 2日目（6月26日）(1)

一般研究発表

研究発表は1セッション35分(発表25分、質疑10分)、入替時間5分です。

会場 A 司会：宮盛 邦友

9:30～10:05 ヒューマノミクスー人間性経済学の探究一

岡部光明（慶應義塾大学/経済学）

10:10～10:45 人間の生き方としての自然保護

岩田 好宏

10:50～11:25 ミシェル・フーコーの言説理論から捉えた予防接種施策

野口友康（特定非営利活動法人予防接種被害者をささえる会）

会場 B 司会：亀山純生

9:30～10:05 高度経済成長終焉期における東京都民の政治意識の変容

川上 哲（三重短期大学法経科）

10:10～10:45 普遍的文明問題を〈配分依存〉の視点から明らかにする：

総合人間学における「一葉落ちて天下の秋を知る」試み

楊逸帆（青醒人共生文化智库、零穿大学、東呉大学／教育・社会学・哲学・システム論）

10:50～11:25 ある研究論文剽窃事件に対する2つの大学の判断基準について

柳沢遊

会場 C 司会：佐貫 浩

12:35～13:10 人権の自然史的根拠を示す意義とは何か

穴見慎一（立教大学・環境思想）

13:15～13:50 小林直樹『暴力の人間学的考察』再考

太田 明(玉川大学学術研究所 特別研究員)

13:55～14:30「現代社会の危機と『よい子』-『権威主義的パーソナリティ』と21世紀版ファシズム-」

前島康男（元東京電機大学）

◇ 2日目（6月26日）(2)

15:30～17:30 ワークショップ

「ポストヒューマン時代」をめぐる哲学／思想的諸問題について
——「無用者階級」、「脳人間」、〈自己完結社会〉、〈無限の生〉の
「世界観＝人間観」などの視点を中心に——

上柿崇英（大阪公立大学／環境哲学・現代人間学）

第一の論点：人間の未来について

コメンテーター：熊坂元大（徳島大学）

第二の論点：〈自己完結社会〉について

コメンテーター：竹中信介（道徳科学研究所）

第三の論点：〈無限の生〉の「世界観＝人間観」について

コメンテーター：亀山純生（東京農工大学名誉教授）

15:30～17:30 ワークショップ

不安の時代の「愛」を考える

司会：本多俊貴（拓殖大学非常勤講師／社会学・農村社会学）

報告 「愛」で虐待は防げるか？—児童虐待事件における「責任」と「愛」—

木野村樹里（株式会社マーケティング・リサーチ・サービス）

報告 権威主義的欲求にいかに向き合うか？—フロムにおける愛の議論を手がかりに—

菅原想（専門学校非常勤講師／社会学）

(15:30-15:35 趣意説明; 15:35-16:05 木野村報告; 16:05-16:35 菅原報告; 16:45-17:30 質疑応答)

◆：ZOOM参加の方法などは別紙「第16回大会オンライン開催に向けてのご連絡」をご参照下さい。